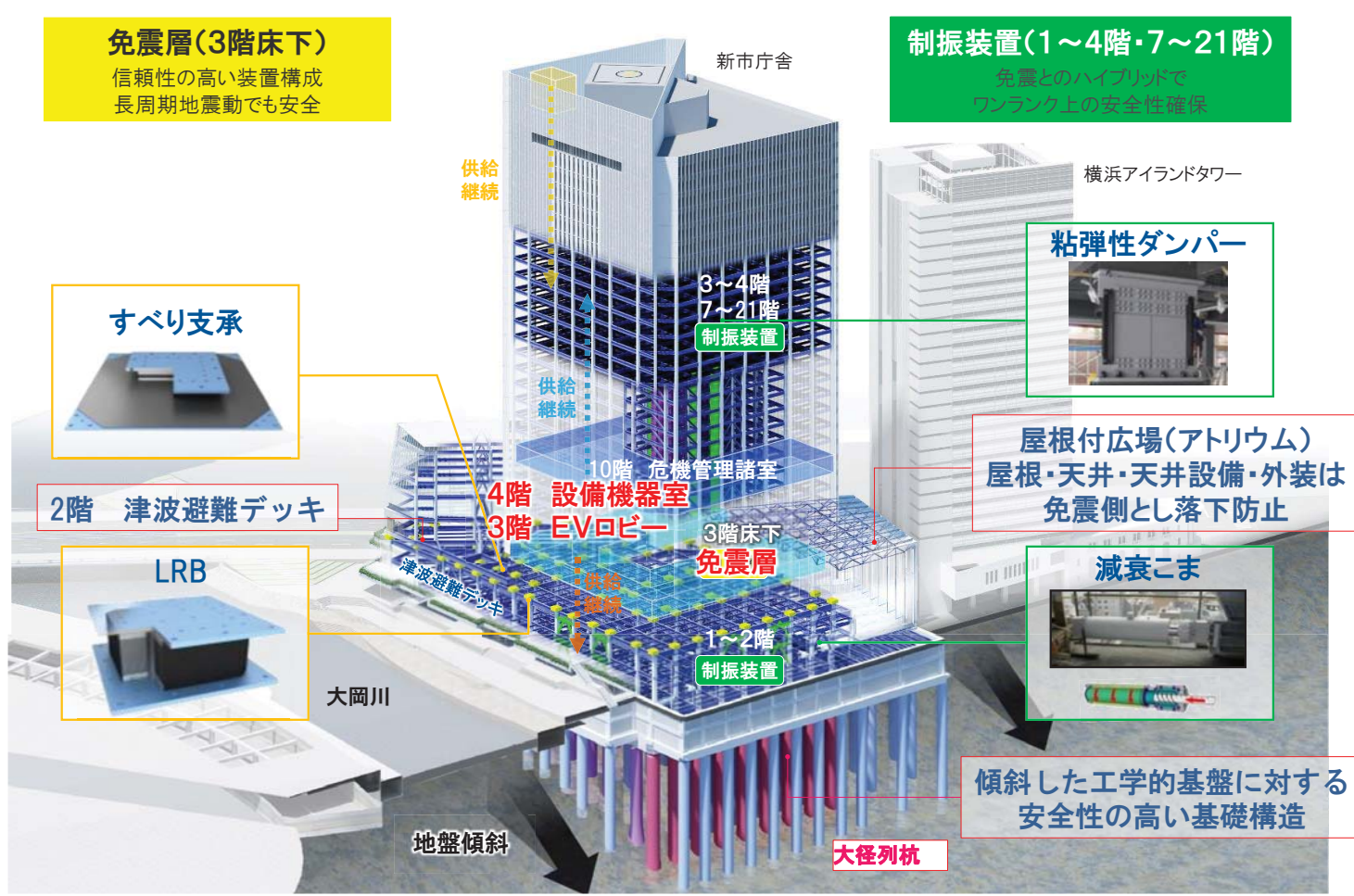


様々な危機に対処できる、危機管理の中心的役割を果たす市庁舎

免震層(3階床下) + 制振装置 ・大地震等が発生しても業務継続が可能な構造体や耐震性の確保

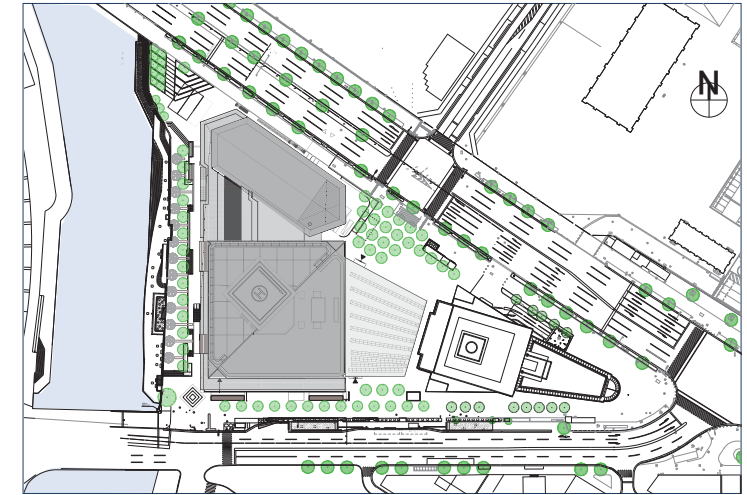


新市庁舎にみんなで「ひろば」をつくる会議

■計画地  
横浜市中区本町6丁目50番地の10  
(北仲通南地区)

■規模  
敷地面積 13,486㎡  
延床面積 140,700㎡  
建物最高高さ 152m  
階数 地下2階/地上31階/塔屋2階

■構造概要  
構造種別 鉄骨造(柱CFT柱)  
鉄筋コンクリート造  
鉄骨鉄筋コンクリート造  
中間層免震構造+制振構造  
基礎 杭基礎+直接基礎



環境に最大限配慮した低炭素型の市庁舎

・先進的な環境設備・機能導入によるエネルギーコストの削減と環境負荷の低減  
・自然エネルギーや再生可能資源の有効活用



的確な行政サービスを提供し、豊かな市民力を活かす開かれた庁舎

中層部および高層部デザイン

・海から港、そして街へ繋がる新市庁舎  
・みなとみらい21、関内、桜木町・野毛など各地区を結ぶ結節点  
・議会棟の独立性を高める配置と形態



・白いシルクの質感と垂直性を基調とするデザイン  
・垂直ラインを構成する白いアルミのマリオン  
・眺望と環境性能を兼ね備えたダブルスキーカーテンウォール





市民に永く愛され、国際都市よこはまにふさわしい、ホスピタリティあふれる市庁舎  
低層部デザイン - 外部

- ・水際線プロムナードに沿って立体的に展開される緑のカスケード
- ・水際の憩いの場となる、展示スペースや商業施設につながるデッキテラス
- ・大岡川での水辺の市民活動を促す広場とプロムナード



大岡川沿い桜並木のプロムナード

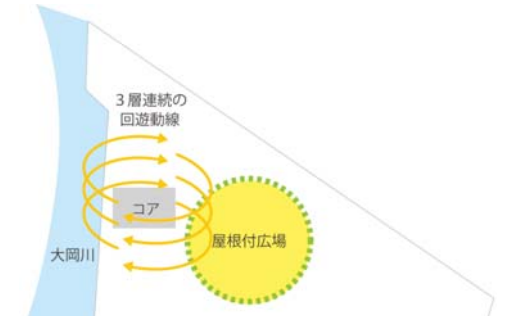


弁天橋方面からの夜景

市民に永く愛され、国際都市よこはまにふさわしい、ホスピタリティあふれる市庁舎  
低層部のあり方

開かれた市庁舎として、市民が自由に集い活動する街のような低層部

1. 3つの広場と屋根付き広場による歩行者ネットワーク
2. 水辺と屋根付き広場を多様に繋ぐ3層連続の回遊動線
3. 機能が混在する街のようなパブリックスペース
4. 光と風と緑を採り入れた開放的な屋根付き広場と展示スペース



水辺と屋根付き広場の動線的、空間的、視覚的つながり



低層部空間構成

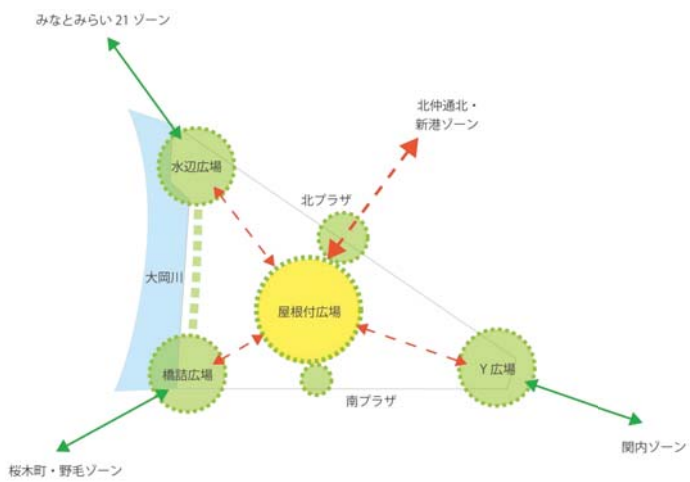


機能が混在する“街のような”パブリックスペース

建物配置の考え方

- ・3つの広場と屋根付広場をつなぐ歩行者ネットワーク
- ・水辺と屋根付広場を多様に繋ぐ3層構成の回遊動線
- ・光と風と緑を採り入れた開放的な屋根付広場と展示スペース

低層部デザイン - 内部



周辺エリアとつながり、多様な活動と賑わいを創出する結節点



建物配置計画



屋根付き広場 (アトリウム)



横浜ジャズプロムナード



ヨコハマ創造都市センターとの協働  
市民サークルや市民向け情報発信



横浜トリエンナーレ 3